

子育て教員 SOS！

すいよう 特集

長時間労働が教員の生活を圧迫し、なり手不足を加速しています。子どもにかかわることが喜びなのに、自分の子育てを足かせと感じてしまう。子育て世代の教員に現場の実態を聞きました。（佐久間亮）

(佐久間亮)

たら学級担任はもう無理…

「いまの働き方」として、産休後は学級担任はつらいときあります。でも先生がいるなか、その希望通りの体制はない。いまから不安です。この秋に出席を控える都内の公立小学校勤務の経験さん（35歳）

「おまかせ」

本来の就業時間は午前8時から午後4時半まで。その間に自分の休憩が入ることになりますが、放課後は朝6時から夕方まで働き、土日も職員会議や児童対応がいるといいます。院には運送したかったのに過労で倒れました。

異常な長時間労働



産休の代替教員探しでも



40代になり役職増えたが



イラスト 井上ひいこ

残業代を払う仕組みが必要

教員の労働問題に詳しい若生直樹弁護士

長時間労働は教員から子どもたちと触れ合いう時間や、適切な授業をするための準備時間を奪っています。教員の生活や健康の問題としてだけではなく、社会全体の問題として捉えることが必要

民間企業でも残業代の仕組みだけではなく長時間労働ではなくなりません。それでも正確な労働時間管理に基づく残業代の支給は、長時間労働を抑制する大きな力になります。教職調整額を数バセント引き上げる自民党案は根本的な問題解決にはならず、教員不足は解消しないでしょう。



残業代 試算25万円⇒自民案 3万円

「働かせ放題」は一切改善されず教員の長時間労働のもう一つの要因が、月給の多くを教職調整額として一律に支給する代わりに残業代を払わないとした「働き方」の残業代不支給制度です。いくら働くせても労働時間短縮におかないのです。

給里で見る限り時間外労働は少なくなくとも年80時間になるとあります。給里での給付をもとに残業代を試算すると、およそ25万円になります。

なります。

自民党は、残業代不支給制度に手を避けず、その代わり調整額を10億以上に引き上げています。しかし10億にして残業代に払われるまで100%にして残業代に払わぬまでは、時間外労働に対する正当な対価を払わず、安上がりの教員の「働き放題」を温存したとするものです。

「働き方放題」は 一切改善されず

イアモト・下瀬雅也